

市長と話し合う会 市民室

平成 25 年 11 月 2 日（土） 13 時 30 分～

1. ゴミステーションの整備について
2. 茂原市議会の改革度調査について
3. 茂原市土地開発公社について
4. 市の中長期ビジョンについて
5. 公共事業における公平・公正な入札制度について
6. 全国学力テストの結果の活用について
7. 基本計画等改定時におけるコンサルの活用について
8. 国土調査の着手について
9. 広報もばら「市長が行く」について
10. 温水プールについて
11. 茂原駅前通り地区土地区画整理事業について
12. メガソーラー事業について
13. 市の財政健全化と人口増加策について
14. 新茂原駅周辺の踏切の改良について
15. 新茂原駅窓口の営業時間について
16. 墨田調節池の整備について
17. 防災無線個別受信機について
18. 台風 26 号水害の詳細な検証について
19. 災害ボランティアの動員について
20. 市の文化施設の改築について
21. 水害時の情報収集方法について
22. 土のうの配布と購入方法について
23. 浸水地区の固定資産評価について

平成25年度「市長と話し合う会」

平成25年11月2日

◆議事進行者

それでは、始めさせていただきます。会を始める前に皆様方に何点かお願いがございます。本日のご質問をいただく順番ではございますが、最初は事前にご質問・ご要望を提出していただいている方にご指名をいたします。本日は11名の方が事前に質問を提出していただいております。その方々の質問が終わりました後、本日ご参加されている皆様方の質問を伺いたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

次に、発言方法でございますが、発言なさる方は必ずお名前・団体名をおっしゃっていただきたいと思います。また、お一人ご質問時間につきましては5分以内で2問まで、まとめて発言をお願いしたいと思います。また、できるだけ大勢の皆様にご質問をいただきたいと思いますので簡素をお願いをいたします。最後に「本日の市長と話し合う会」終了予定時間は4時30分を目安とさせていただきます。4時15分ごろから市長に本日の「市長と話し合う会」の総括を行っていただきたいと考えておりますので、よろしく願いをいたします。重ねて申し上げますが、質問要旨はできるだけ簡素をお願いをしたいと思います。多くの方々のご意見をいただくため、皆様のご協力をよろしく願いをいたします。

それでは、始めたいと思います。まず最初に、事前にご質問・ご要望をいただいている方に発言をお願いいたします。事前にご質問・ご要望をいただいている〇〇さん、よろしく願いをいたします。

1. ゴミステーションの整備について

◆質問者1

どうも恐縮でございます。私はちょっとお話が下手なもので申しわけございませんけれども、ごみ処理の問題につきましていささかご意見を申し上げまして、皆様のご意見と申します。私はこの市でもうかなり毎日ぶらぶらしてしますので町中もよく歩きます。そうしますと、ごみの処理の問題ですけれども、ごみを指定された場所でしょうけれども、そこへ置いてシートをかぶせたり、網をかぶせたり、そういうことでやっております。しかし最近は大犬とか猫、カラス、非常に利口になりましてですね、そのシート、網を外す、くぐって中から物を出して、そしてむさぼっているというような光景でございまして、場所的な問題もございましてからやむを得ませんけれども、でき得れば開けて閉めるということですね。物を中へ入れて網をかぶせるとか、そういったことで後の始末、要するにちょっと目方のあるものを回りに置いて簡単に開けることができないようにしてやれば、後始末をして、利用するという方法がよろしいかと思っております。

これは恐縮ですけど、私の茂原市野牛ですけれども、地元で〇〇さんという鉄骨屋がございまして、自治会の役員の人たちがその方にごみの要するに収納する場所ということで

つくってもらって、それを据えつけて、そして中へ皆さんが入れる、ふたをするというようなことでやってございまして、要するにその回りが非常に清潔でいつもきれいになっておりまして、もちろん犬とか猫とかカラスとか、そういうものは全然立ち入れないというような形でございます。ですから、費用の問題につきましては、私はいろいろ問題がございますのでお聞きしてございませぬけれども、もし予算の関係もあるでしょうけれども、そんなに高価なものではないと思いますので、皆さんが野牛の先に立ち寄ってごらんになって、そして「あ、いい施設だ」というような感じを持ったら、またそのときでまた〇〇鉄骨屋さんが勉強してやってくれると思いますので、ひとつその点を私は感じておりますのでよろしく申し上げます。

☆経済環境部長

経済環境部ですけれども、ごみの担当をしております。〇〇様には非常に貴重な情報提供いただきましてありがとうございます。ぜひ一度現地にお伺いして拝見させていただいて、よその地域でもそれが適用になるかどうか、市のほうも研究して進めていきたいと思っておりますので、ひとつよろしく申し上げます。

◆議事進行者

それでよろしゅうございますか。

◆質問者 1

どうもありがとうございました。

◆議事進行者

では、2番目に、〇〇さん、よろしく申し上げます。

2. 茂原市議会の改革度調査について

3. 茂原市土地開発公社について

◆質問者 2

質問をたくさん事前に出してあるんですが、2問ということで2つほど質問させていただきます。

まず、今週の市議会選挙で投票率が50%を割りました。これはやっぱり投票率が低いということは民主主義の非常に根本的な問題だというふうに認識しております。なぜ低いかということをお考えますと、やっぱり市民が市議会でどういうことをやられているのか、あるいは各候補者の政見の概要、どういうことを訴えているのか、あるいは人物であるとか、そういうことの判断基準が非常に判断する材料が非常に乏しいと。その1つの一因としては、行政のほうとしましてはこういう市民と話し合う会であるとか、あるいは市長と

のふれあいミーティング、あるいは市長への手紙ということで大きく3つの窓口が開かれていると思います。ところが、議会につきましては一度選挙に受かるとあと4年間はほとんど市民との対話がない。例えば議長との対話であるとか、あるいは議会との対話であるとか、あるいは議長への手紙であるとか、そういう市民に対する対話の窓口が全然開かれてないと、こういうことが大きな原因ではないかと思います。さらに、『日経グローバル』という雑誌がありまして、その中で議会の改革度という調査をされております。この中で茂原市は全国810市区議会の中で783位と、こういう改革度になっております。これはやっぱり市民としてはやっぱりおかしいんじゃないかというふうに考えております。こういうことで、これに対する市長の見解をひとつお聞きしたいということです。

それから、もう一件。先ほども市長の挨拶のなかで土地開発公社の問題が一応片づいたといいますか、第三セクター債で借りかえすることによって返済額が減ると、利子も減るということで述べられました。ただしこれはやはり茂原市の財政の屋台骨を揺るがすような大変な問題であったと思います。現在でもあると思います。これに対してこれまで何十年間かいろいろ問題があったはずで、それを今までにこれは問題だということで、もっと早く気づいて対策を打つチャンスもあったんじゃないかと思います。これが今まで延ばされてきた、それで莫大な借金になっていると、このような経過をやっぱり風化させてはならない。どうしてこんなような問題が起きたのか、どうしてここまで放置されてきたのか、そのために検証委員会というものを設けて、その責任も明らかにし、今後の市としての反省材料にすべきではないかと思うわけです。ということで、今までそういう検証委員会という動きはなかったのか、そしてまたこれから検証委員会を設けたらどうかということなんですが、それについてご見解を伺いたい。

さらに、この財政が悪化する前に市の職員の方の中で、特に財政担当されていた方だと思うんですが、これがいずれ大変な問題になるということで指摘をされた方がいるそうです。ところが、その方は人事によって排除されてしまったと。こういう立派な方がおられたということをご一般市民の方は知らないんじゃないかと思うんです。このような事実があったかどうか、それも踏まえてお答えいただきたいと思うんです。以上です。

☆総務部長

総務部の麻生でございます。ご質問の市議会の運営、それから、個々の議員の活動に関するご質問でございますけれども、ご承知のとおり市議会と行政は地方自治の両輪としてそれぞれ独立した立場で公平・適切に運営されていると、そのように考えておるところでございます。したがって、市長の部局側からその議会の運営に関して種々発言することは控えさせていただきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

◆質問者2

よろしいですか。市長さんとね、市長と、それから、議会というのはね、それは確かに

二元性で牽制し合っているところだということはわかります。場合によっては協力を求めなくちゃならないと。だからといってね、何にも議会の運営に関して意見を述べられないのか。協力をいろいろ求めなくちゃならないから、じゃ、仲よくしようということでやっていたら、これは議会と行政というのは単なる仲よしクラブになっちゃうんじゃないかと思えます。仲よしクラブ、そういう結果がね、この土地開発公社の起きたような問題に結びつくと、こういうふうを考えるわけです。だから、何も意見を述べられないというのは、これはちょっと問題ではないでしょうか。

☆市長

非常に難しいナーバスな問題になってくるので、私のほうからはと思って総務部長が多分答えたと思うのですが、やっぱり二元制でございましてチェック機関であります議会がございまして。市会議員の先生たちは皆様方が代表して選ばれてきております。私も選挙でももちろん戦って受かって市長になっているわけでもございまして、そういう立場をやはり重んじなければいけないというのが私どもの執行部の見解でございまして。ただ、おっしゃるとおり行政側と、それから、議会側とが一緒になってこれでもう何かでき合いで全て物事を進めているかといいますと、そこはもちろん違います。間違いなく私のほうから提案されあるいは提案したものに対して、議会のほうで再度チェックをしていいか悪いかを判断していただくと、こういうような話で来ていると、今までもですね、そう私は思っておりますが、私になってからはその辺のこともきちっとやってきているつもりでおりますので、ご理解をしていただきたいと思っております。

市長のほうから議会側に何か言ったほうがいいんじゃないか、多分そういう話じゃないかと思いますが、これをやりますと非常に物事を先に、いろいろと専決事項でも進めていかなきゃいけない事業がいっぱい出てきます。例えばこの26号の台風の問題にしても、この26号だけで3億5,000万ほど予算を使うわけですね。ものすごい、まだ表には出ていませんけど、ただ、そのうち一般財源をつぶすわけでもございまして、ましてや先ほどから申し上げているとおり、これがなければ、今たまたま繰り越しの財源がありますから、それで今回は何とか対処できるかなというところはありますけれども、そういうものがないければ基金を取り崩さないといけません。だから、財政調整基金なんですね。そういう意味では20億まで膨らませてきておりますから、多少のことがあっても大丈夫だと思っておりますが、今まではとてもじゃないけど、私が就任したとき3億切っておりましたので、3億弱だったので、このときに今のような水害が来たらどうするのかと、ほんとうに毎日のようにそういう思いで5年間やってきたわけでもございまして。

これは当議会側との話というのはやはりどうしても専決、先に物事を進めなきゃいけないんですよ。例えば見舞金を配る、床上浸水の家庭に3万円ずつ、400軒以上ありますから1,200万も配っているわけですよ。これを配った後の議会で否決されたらどうしますかという問題がやっぱり出てくるんですね。だから、こういうようなこともちょっと、

私からこういうことは言いたくはないんですが、この辺も踏まえて行政側と議会側がうまくやっばりどうしてもどこかでやらなきゃいけないというところがあるということだけのご理解していただきたいと思っております。

ちょっと長くなってしまいましたけど、開発公社の問題はこれはほんとうにできればもっと早い時期に検証して、私もしていただきたいかったと思っております。何でこんなに延ばしたのか、ここはもういろんなところで言わせてもらっておりますが、行政システム上の大きな、国もそうですけどね、大きな問題ではないかなと思っております。というのは、私は4年間の任期、後ろに座っているスタッフは部長クラスで2年か3年かわるわけですね。短いと1年、要は私は4年間の任期は何かやらなきゃいけないんですけど、こういう言い方は失礼ですけど、後ろに申し訳ないですけど、要はその任期、逆に言うとじっと我慢していれば何とかというようなことが、わかりませんよ、わかりませんが、過去においてはあったんだなと。したがって、延ばし延ばしになってきたというのが今の土地開発公社、あるいはいろんな問題ありました。給食公社もそうですし、それから、誰かがやらなきゃいけないのに誰もできない、でも、やらなきゃいけない。そこでメスを入れさせていただいたわけがございます。大きな問題はもうこれで多分ないと思っております。仮にあるとすれば茂原市の中ではなくて広域内の関係の中で何か出てきやしないかなと、こんな思いもございますが、そういう思いでやってきておりますので、土地開発公社は。でも、僕の信条としてはできるだけ過去を振り向かないように、できるだけこれからどうするかというようなことですとずっとやってきておりますので、その辺はご理解していただきたい。

もうおかげさまで結構大胆にやってきたつもりでおります。5年間の中にはいろんな犠牲者ももちろん出てきておりますけど、これはそういうことをご理解していただきたいと思っております。これから検証するのは大いに結構ですけど、今、私どものスタッフだけでは検証するといってもなかなか難しいかもしれませんので、外部でやっていただくか、こういう話も前にもしましたけど、なかなかその辺はやっばりいろんなことが絡んでいきますから、私としては非常にコメントしづらいものだとということでご理解をいただきたいと思います。

◆質問者2

すいません、検証委員会というのは市長が音頭をとって進めることはできないんですか。

☆企画財政部長

ちょっと検証委員会の関係なんですけど、23年9月に公認会計士、弁護士、専門知識を有する5名の外部委員で構成する茂原市土地開発公社経営検討委員会を設置しました。その中で調査検討した中で、第三セクター等改革推進債を活用して解散しようと、そういうようなお話が出ましたので私どももその辺を考えまして、今回解散という形をとらせて

いただきました。以上でございます。

◆質問者 2

全然答えになっていませんよ。そんなことは百も承知、広報にちゃんと書いてあるんだから。私が言っているのは検証委員会を設けるべきではないかと言っているんですよ。全然答えになってないじゃないですか。

第三セクターに借りかえたというのは、そんなの単なる事務処理であって、検証委員会をつくるかどうかという問題と全く別じゃないですか。話を変えないでください。

☆企画財政部長

検討委員会の中で三セクを使うとか、いろいろな方法を論じた中で今回やらせていただいたわけですので、その検討はさせていただいている。

◆質問者 2

そうじゃないです。検討委員会というのはどういう計画でこういうことが起きたか、その責任は誰にあるのか、それをはっきりさせるのが検証委員会じゃないですか。何言っているんですか。借りかえをした事務処理が、何で、検証委員会に関係ないじゃない。そんなの単なる1つの事象じゃないですか。

◆質問者 3

ちょっと、すいません、関連でちょっといいですか。

◆議事進行者

はい、どうぞ。

◆質問者 3

私はここで土地開発公社の解散というのは話をしました。そのときには市は財源がないからやりませんってはっきり言いましたよ。私にもそういう文書で回答来ましたよ。もう財源がないから、解散はしたいんだけど、解散できる裏づけの予算が計上ができないから、国がそういうことを言ってもね、茂原市は乗れないって言ったですよ、いいですか。

☆総務部長

ちょっと担当は違いますけれども、今のご質問はその第三セクターと改革推進債の制度が、基本的には10年で返済をしなければならないという制度の枠組みの際にお答えを申し上げたことだと思います。その後、もうちょっと長い期間が認められて、そういったことで結果的に30年にしたんですけれども、それであれば市は財源として耐えられるとい

う判断の中で申請をし、許可を得て今回のようなことをやったわけです。

◆質問者 3

そういうことは中でやったんですよ、中だけで。ああいうとき何の市民に対して開かれたものがないんです。だって、私なんか10年も前に百六十何億のあれで市が、茂原市が債務保証しているから利息代で3億以上払っていますよ、会計が全然減らない。それはね、そういうことはとっくに問題だったんですよ、10年も15年も前から問題だったんですよ。そこに何でそういうことやらなかったのって、最近ね、その人がこれは問題ですよって問題提起した人がいたというのが、人事上ね、差別受けたというのは、これはありますか。

◆質問者 2

そう、それ答えてない。

☆企画財政部長

これについては、私ども課長クラスは2年～3年で定期異動しておりますので、そういうような事実があったかは私どもは認識しておりません。

◆質問者 3

みんな公開で聴いてるんだからさ、私なんか財政のこれほど人事、我々の茂原市の財政について言ってんだからさ、土地開発公社は足引っ張り合いしてたんだよ、今まで。私ずっと10年以上もずっと追跡していますよ。3月改正しました。だから、その間の経過はみんなに開かれたものじゃないとね、細部に対してやってきたね、一般会計の中で金を食えば食うほど、ほかの道路でも、橋でも、建物改修でもね、大事なお金がそこに使えないということなんですよ。そうでしょう。それを土地開発公社の債務保証しているから、3億何千万も毎年、毎年払っていますよ。一般には出ていかない。そして1.875%という金利で借りていました。私はずっと10年やっているからみんなより詳しいと思うよ。でも、市は財源がないからできないとはっきり言ったんだ。

☆市長

確かに。この問題を話していくとちょっと時間が申しわけないですけど。

◆質問者 3

とても大事だ、これは。

☆市長

ええ、ただ、私からちょっと一言言わせていただきたいんですが、この件に関しましては多分〇〇さんも、それから、〇〇さんもここに参加している皆さん方も同じような考え方を持っておられると思っておりますでしょうし、私も市長になってまさかこれだけ何で膨れ上がっているのかよくわからないところもございまして、正直言って、ほんとうは突っ込んで検証していくべきことだとももちろん思っております。したがって、時間をいただきたいと思っております。この件に関しましては、だから、今、〇〇さんのおっしゃるような監査をしたほうがいいんじゃないかという話もございまして、どこにどういう問題があったのかというのは当然検証してしかるべきだと思っておりますので、私、個人的にはもう少しづつは、個人的にはやってきているつもりでおりますが、ただ、これは難しい、非常に苦慮するところもございまして、この辺もちょっと加味してご理解していただきたいと思っております。非常に立場上苦しいところでございます。

ただ、今言ったようにできないというのは多分できなかったのでしょう、きっと過去において。ですから、これはできたということは画期的だと自分でも思っておりますし、これを後世にずっとこのまま引き延ばしてもいけないというところでございまして、この辺だけ意を酌んでいただいて、後で検証委員会なるものを立ち上げるかどうかはもう一回行政内でもみます。また議会のほうにも協力していただくように申し入れして、はっきりした形で皆様方に示せるようにしたいと思いますので、ご理解をしていただきたいと思っております。

◆質問者 3

とりあえず。

◆議事進行者

では、〇〇さんの質問はこれで打ち切らせていただきます。

◆質問者 2

はい、前向きに。

◆議事進行者

時間がございましたら後でまたいただきますけれども、順番がございましてこれ一応打ち切りたいと思います。では、3番目の〇〇さん、よろしくお願いいたします。

4. 市の中長期ビジョンについて

◆質問者 4

簡潔にお願いしたいと思います。茂原市の中長期のビジョンですか、そういったものに

ついて詳細のやつは後でコピーかなんかで私にはいただきたいと思いますが、ただ、ここでお願いしたいのはそのあらましですね。ビジョンというと格好いいようですけれども、各家庭に家訓があり、また企業やなんかに社訓があったり、また自治体なり国にもビジョンなり、そういう目標というか、規範というものはやっぱり、これはソフトの面ですけれども、非常に大切なことだと思います。そこで先ほどから議会と執行部の両輪のお話もございましたけれども、まず市の執行部でこれを、ビジョンを遂行する、所管する部局ですね、どういった方たちが中心になってこれを統括しているのか。あわせて議会のほうとの連携ですね、議会とのどういう連携でこのビジョンの達成に向かって汗を流しているのかと、この辺のあらましについて簡潔にお答えいただければありがたいと思います。よろしくをお願いします。

☆企画財政部長

担当としては企画政策課を中心にやっております。全体的な話ですのでちょっと少し長くなっちゃうんですけど、まず私ども茂原市で総合計画というのがございます。その中で基本構想、これは20年間でございます。あと基本計画、これは10年でございます。それを実施、実際にやる事業ということで実施計画、これが3年間でございます。基本構想の中には基本理念として将来都市像、施策の大綱などで構成されております。その大綱が茂原の場合6本の柱でできておまして、1つが教育文化、2つ目が健康福祉、3つ目が生活環境、4つ目が都市基盤、5つ目が産業振興、6つ目が市民自治、この6本の柱でできております。あと基本構想を実現するために先ほど申し上げました基本計画、これが10年ございまして22年度に前半、20年分の10年が終わりました。それで平成23年にまた新たに32年までの10年間の後期基本計画を策定しております。その中でまた実施計画というのがあるんですけど、23年～25年の実施計画が終わりましたんで、今まさに26年～28年、3カ年の新しい実施計画を策定しているところでございます。

それでこれまでの進捗状況なんですけど、前半10年につきましては大体25件、25事業で、あと終了見込みのものが30事業ございまして、継続中の事業が117件ほどございます。厳しい財政状況が続いたんですけど、幼稚園・保育所の改築、市営住宅の建てかえの一部を除いてはおおむね計画どおりに順調に行っております。また、議会についてはこの基本計画をつくるときに、全員協議会とかいうところで説明をしてご理解をいただいているところでございます。以上でございます。

◆議事進行者

よろしゅうございますか。

◆質問者4

はい、ありがとうございました。

◆議事進行者

続きまして、〇〇さん、お願いします。

5. 公共事業における公平・公正な入札制度について

6. 全国学力テストの結果の活用について

◆質問者 5

先ほどご質問がありましてご意見が出ましたけれども、市議会の改革は全国でも最低のほうであるということはかなり屈辱的に聞こえました。これにある程度関連しますけれども、私が3年前にたしか企画政策課だと思えますけれども、市議会議員と議会と、それから、これを加えるように一般市民との討論会をぜひ開催してほしいということを提案いたしました。文書で提案したんですけれども、それはどういうわけか拒否されました。したがって、今でもこれは実現していません。数年前にこれを行ったわけです。理由はよくわかりません。

それに関連して申し上げますけれども、現在、多くの市民が疑惑を持って見ていることがあります。それは何かというと、これから水害でも急に増えてくると思いますが、いろいろな公共事業の入札状況と申し込み状況ですね。それから、その後の審議経過、そして最後に何がどういう理由で落札が決まったのか、こういうことをきちんと説明できるような情報を、ぜひ「広報もばら」に載せてもらいたい。ただ結果の落札だけでは、これは意味をなさないわけです。それで何か疑念の点があるので多くの市民が疑惑を持っています。その疑惑というのは、市会議員や、あるいは、前にひな壇に座っているいろいろなお偉方が、何か癒着関係にあるんじゃないか、あるいは、言葉は失礼ですけれども、贈収賄が行われているんじゃないかなど、こういう疑惑を市民は持っています。私もその市民の1人です。今後、そのために透明性をきちっと持たせて市民が納得できるような解説をするためにはどうしたらいいのかということをぜひ伺います。

それから、2番目、これは教育問題ですけれども、教育問題に2つあったんですが1つだけ伺っておきます。それは今年の4月に小学校6年生と、それから、中学校3年生の全国一斉の学力テストが行われました。その結果は既に文部科学省から報告されているはずですが。その結果を教育委員会はどう見ているのか。それから、その結果を活用して茂原の小学校・中学校の教育レベルを向上させるためにはどういうことをすればいいのか、教育委員会、そして教育長としてお答えを願いたいと思います。

☆総務部長

総務部の麻生でございます。1点目の入札に関するご質問にお答えをいたします。まず基本的には現在のやり方で不正な競争入札等は十分防止できているというふうに判断をしております。

◆質問者 5

何している、もう一度。

◆議事進行者

防止していますと。

◆質問者 5

あ、防止している。

☆総務部長

はい、防止していると判断をしています。そのことについて若干説明させていただきますと、工事の例で申し上げますと、一般競争入札と、それから、指名競争入札というやり方がございます。一般競争入札と申しますのは、わかりやすく言いますと誰でも入札できる、札を入れることができるという入札でございます。それから、もう一つは指名競争入札で、これは市の側から建設業者を金額に応じて10社とかをこちらから指名して入札をしてもらうやり方です。いずれにいたしましても、誰が参加できるかということは一般入札であればもちろん誰でもできるわけですから、これはわかりません。それから、指名競争入札の場合でありましても誰が、例えば指名を受けた業者が自分のほかにどこの会社が指名されているのかということは公表いたしておりませんので、何といたしまして、いわゆる談合ですとか、そういうことはできないようなシステムとしておりますので、そういう意味で不正な入札は行なえないようなやり方をしているというふうに考えております。

ただ、〇〇さんおっしゃるとおり住民の方が疑惑を持っていると、そういうことは、今、私が申しあげました入札のやり方ですか、そういうものをもっと明らかにしていくというか、市のやっていることを皆さんにわかるような形でご説明申し上げるということはしておりませんので、そういう努力をしましてご理解をいただくように努めてまいりたいと思います。以上でございます。

☆教育長

教育長の古谷でございます。よろしくお願いたします。全国学力テストのことについてお答えをいたします。本年度の結果については8月27日に公表されました。教育委員会にも届いております。これによりますと、平均点と申しますか、点数にこだわるということは別にないわけでございますけれども、一番関心のあるのは皆さん点数ということでございます。千葉県は全国とほぼ同じということでございます。

◆質問者 5

茂原は。

☆教育長

そして茂原も全国とほぼ同じということになっております。これはその前にやったのが平成21年でございますので、そのときもほとんど同様の結果だったということで、そのときも全国と同じということになっております。

そして、効果的に活用するために何が必要なのかということでございますけれども、私どもはまず第1にその結果を分析をするということで、どういう傾向があるのか、それをつかまなければいけないということで、現在、分析委員会を設置いたしまして分析をしております、ほぼ終わりました。そして、それを冊子にまとめて間もなく各学校に配布するというようなことになっております。

2番目には、やっぱり問題の中にうんとできる問題もあるんですけど、うんと落ちている問題もあると、問題によってできない問題もあるということでございますので、そういう問題、特にできない問題をどうするのかということでございまして、それはまず茂原市の教育研究会という先生方の組織した会がありますので、国語部会、算数・数学部会にお願いしまして、特に悪いところの類似問題をつくるということで、これから委員を選んでやってもらうということになってございまして、とにかくできなかつたところはやっぱり早急に復習しなければいけない。そしてもう一つ、先生方にとってはこういうところにやっぱり欠点があるんだということを明確に生かしてもらうために、その類似問題をつくって各児童生徒にやらせるということにしております。

それから、3番目には今後もっと長期的にどういうことかということでございます。その1番目といたしまして、今いろんなことに教育課題があるものですから、先生方はいろんなところに目が行ってしまふ。でも、実際テストをやってみると簡単な計算だとか、漢字だとか、そういう基礎・基本的な問題に結構できないところがあったんです。ですから、これは先生方に反復練習、ドリル学習、そういうものを十分やるようにというふうにこの間も校長会で言ったんですけれども、そのようにしたい。したがって、来年度に向かって、学校のほうで国語とか算数とか、その間にドリルの時間を入れるとか、あるいは家庭の宿題をもっと充実するというのを1つ指示をいたしました。

それから、2番目には学習方法の改善、授業の改善ですけれども、やはり、今、先生方が教えて子どもが暗記をするということではなかなかあのテストには対応できない。やっぱり子どもがよく調べて、そしてレポートに書くあるいは話し合いをするとか、あるいは発表会を行う、そういうような授業形態を多くとるということで授業形態を変えるということを、今までもやってきているんですけれども、さらにそういう問題をもっと多くしようということをやっております。それから、3番目はやっぱり今ゆとり学習から今度は転換しましたので量が多くなりました。したがって、やっぱり家庭学習をしっかりやってくれないとなかなか消化し切れないということがございますので、やはり家庭学習の進めです、そういうことについて先生方にも宿題の仕方、あるいは保護者の皆さんにも家庭でこのようにやってくださいというようなことで家庭学習の進め方の指導であります。

それから、4番目には読書です。やはりこの問題というのは、私どもがテストやったときみたいに簡単に問題を書いたらすぐ答えを出すんじゃなくて、長く問題が書いてある。ですから、文が読めないと解けない。そういうことがありますので、やっぱり読書しなければということで読書に力を入れているんですけど、さらに頑張るよということをやっております。ちなみに中学校は全国を上回ったんですけど、小学校は全国より下回っているという結果でございます。それから、もう一つ、5番目は、今、先生方がベテランの先生がどんどん退職している。かわって新しい先生がどんどん入っている。そういうことで先生方の研修をしっかりしていくということだと思っております。今後ともよろしくどうぞ指導願いたいと思っております。以上です。

◆質問者 5

ちょっと入札の件について一言だけいいですか。先ほど指名入札があるとおっしゃいましたけれども、何を根拠に指名するんですか。

☆総務部長

発注しようとする業務等が確かなものとしてでき上がるためには、どうしても業者さんの技術者の数ですとか、規模や実績というものがございまして、そういうもので単純に申し上げてしまえばやっぱり規模や実績のある業者というふうなことでございまして。以上でございます。

◆議事進行者

よろしいですか。

◆質問者 5

はい。

◆議事進行者

では、5番目の〇〇さん、お願いします。

7. 基本計画等改定時におけるコンサルの活用について

8. 国土調査の着手について

◆質問者 6

提案あるいは要望がそれぞれ1つずつあるんですが、1つは提案ですが市が策定する基本計画等の場合に、それは専門のコンサルタントに委託するということが当然だと思うんですけども、その改訂で変更とか見直しのときにコンサルに頼まないで、場合によっては市の担当者が行うということは当然あると思うんですが、そのほうが市の担当者の

ほうが地域の状況だとか、その当初計画の問題等を把握していると思いますので担当職員にやってもらうのがいいと思うんですが、逆に担当の職員の方がやるとなると通常の業務以外のことをやらなくちゃいけないということになりますので、なかなか時間的にあるいは能力的にも、能力と言っちゃ悪いんですけど、なかなかできないと思うので、そのコンサルじゃないんですがスタッフ的なものとして市民のボランティアを募って、それでワークショップ的なものを持ってもらうとか、それでまとめて諮問をすとかいったことをやるような形にされたらどうかなというのが1つの提案でございます。

要望も1つなんですけど、昨今といいますか、最近、白子町だったかな、でもやり始めたという話ですが、国土調査なんですけど、なかなかこれは費用も大変だと思うんですが、震災等でも、この間の震災でも土地の境界がどこにあったかということがありますので、そうなる前にきちんと国土調査をして残しておけば、その復旧するときにもスムーズに行くと思いますのでぜひとも国土調査というのをやっていただければ、着手していただければなと思うんですけども、それが要望です。以上です。

☆企画財政部長

総合計画の関係なんですけど、確かに平成13年の策定に際しては専門のコンサルに委託しまして、審議会を設置してつくったところなんですけど、今、見直しの今期基本計画についてはコンサルを入れないで市の職員で策定いたしました。現在の計画が32年で終わりますので、今度改訂というか、つくるときは大体二、三年前から着手しますので、〇〇様のご提言のとおり、市民ボランティアとか、ワークショップを取り入れてつくるような形を検討していきたいと思っております。ありがとうございます。

☆都市建設部長

都市建設部の鳩川でございます。よろしく申し上げます。国土調査の関係の要望にお答えしたいと思うんですが、国土調査につきましては災害復旧時の対応ですとか、公共事業の円滑化などの面からも正確な土地の境界線を定めておくことは大変重要なことと認識しておるところでございます。この境界線を定めるためには市内全域におきまして地籍調査を実施する必要があるわけですが、本市の場合、土地区画整理事業の施工区域等、境界が確定しているものを除いた約90平方キロメートル、筆数にして約18万筆の境界を確定することとなります。ご質問にありまして、この測量を実施するためには多額の費用と長期にわたる事業期間が必要となるわけですが、事業を始めたが中断しているとか、いろいろな町村の事例が報告されておりますので、そこら辺の状況をよく調査させていただいて、本市にも導入できるかどうか検討させていただきたいと考えています。以上でございます。

◆議事進行者

よろしゅうございますか。

◆質問者 6

はい。

◆議事進行者

続きまして、6番目の〇〇さん、いらっしゃいませんか。

いらっしゃいませでしたら、7番目の〇〇さんどうぞ。

9. 広報もばら「市長が行く」について

10. 温水プールについて

◆質問者 7

〇〇です。所属団体なし。後ろの方の迫力ある質問の後でちょっと恐縮なんですけれども、「市長と話し合う会」ですから市長にお尋ねします。まず「広報もばら」の「市長が行く」というコラムございますね。これをいつも読んでいますけれども、「あ、なるほど、市長はこういうお考えをお持ちだな」というのはわかるんですが、時々いら立ちというか、何か言うこと聞いてくれないという、そういうのが垣間見えることもあります。それで市長にお願いしたいのは、これはあくまでも「市長が行く」なんです。したがって、例えば机に座っていろいろ考えてそれを述べるというんじゃないんじゃないかなという気がします。私、印象に残っているのは、最初、市長になられたすぐのときに学校訪問かなんかされましたよね。そのときに「これじゃだめだ」とか問題点を幾らか挙げられた。だから、「あ、これは今度の市長はいいぞ」と思ったんですよ。前の市長の悪口は言いませんよ。だから、今後も、お忙しいのはわかるんですけれども、極力そういうのであちこち見て回っていただいて、それで所感を述べていただきたいんですけれども、どうですか。後でいいです、もう一つあります。

もう一点はあの広域の温水プールの件なんですけれども、これを使用するには会員にならないとだめだと言われたんですよ。会員登録しないとだめだ、登録料は3,100円で使用料が700円、これはちょっとおかしいとみんな思いますよね。ここら辺の説明をお願いします。

☆市長

ありがとうございます、読んでいただきまして。これ「市長が行く」というタイトルをつけたのは、最初「うーん、どうするか」と思ってタイトルを何にしようかなと思って、たまたまこの「市長が行く」というタイトルにただけでございまして、しょっちゅうどこかに市長が行って書くためのコラムとは私は理解してないところだけまず先に謝りたい

と思います。ただ、最初から学校訪問させていただいたのは、学校施設、特にかなり老朽化していると、いろいろ教育要望かけても要は何もやってくれないと。これは、私、県会議員やっているがときにそういう意見を一般の方から、茂原市がどうなっているかわからないけど、その辺はもし何かあるのであれば聞いていただきたいという話を受けておりまして、それで実際に市長にまさかなるとは思ってなかったんですけど、なりました。なったときにそれが一番ちょっと頭に残っておりまして学校訪問させていただいたんですけど、ひどかったですね、びっくりしました。この中にやっぱり書き切れないことがいっぱいありますけれども、時間がないのであまり細かい話はしませんが、一番怖かったのは東部小学校に行きまして学校の教室の中に入りましたら家庭科の実習をやっている、ただ、生徒たちは授業をやっているんですが入った瞬間にベルが鳴ったんです。

ベルが鳴っているというのはつまり換気扇を回して、茂原市は天然ガスが出るのはご存じだと思いますけど、天然ガスが出ます。したがって、ガスが上ガスというのでガスが上にたまるんですね。たまったガスを換気扇を回して外に自動的に出すというシステムになっておりまして、入った瞬間にベルが鳴っていて「何でベルが鳴っているの」って聞いたなら、いわゆる換気扇が故障しているんだと、上ガスが外に出ていかないんだと。これはもう教育委員会にいろいろ言っているんだけど、直しに来てくれないと。したがって、どういことをやっているかという、窓ガラスを全部あけて授業やっていたんですよ。これはまずいと思ってすぐガス会社に電話して至急その非常ベルみたいのを鳴るのをとめて、換気扇を直すように指示をさせました。こんなのほんとうに初歩的な危ないなと思うような誰でも気がつく話なんですけど、それすらできないのが多分今までの行政の内部の仕組みになっていたのかなと思った次第です。

いや、もうめっちゃくちゃですよ、とにかく正直言いまして。学校行けば全部遊具はロープで縛られていたり、使えませんか使わないでくださいというような張り紙がいっぱいしてありますし、子どもたちはというともう遊べないものですから、かわいそうに遊具の使い方すらわからないで卒業する小学生も相当出たんじゃないかなと思うぐらいひどかったです。したがって、そういったところから全部やらせてもらいました。申し訳ないですけど、ほかはもう目つぶって一億数千万かかりましたが、遊具関係、それから、公園の遊具も含めましてやらせていただいたことがございます。これはやっぱり現場主義ということで、やっぱり現場行かないとわからないというのは私の信条でございますので、これは貫きたいと。そういった中でわかったことは「市長が行く」という短いコラムの中ですが、できるだけ皆様方に知らしめようと思って書かせていただいております。そうはいっても毎日、あるいは毎月のように出歩いているわけではないので、したがって、その辺は時たま自分の何か変な感情を書いて、先ほどの話じゃないですけど、お叱りを受けるところも多々あるかもしれませんが、それはお許し願いたいなと思っております。

今も企業立地に向けてちょっといろいろ書かせていただいておりますが、なかなか都市間競争ほんとうに厳しいですよ。もう福島県なんかは原発の事故以来、福島に企業を誘致

するのは国がほとんど面倒見ていると一緒に、土地はほぼただみたいなもので提供します。設備まで国が面倒を見ます、8割方から9割方、面倒を見てしまうわけですよ。茂原市に工業団地つくって来てくれますかって言って「買えますか」っていう話なんですね。もう前提条件が全然違うんで、こういうようなところは皆さん方全然知らないと思いますが、要はそういうような都市間競争がもう常に起きていると。沢井が来てジャパンディスプレイが来てよかったなって思っているかもしれませんが、これも大変だったんですよ。これはもういろんなところで話しますが、つまり引っ張ってくるのにもそれなりのやっぱり労力が必要ですし、それなりの駆け引きといいますかね、この辺は知ってるつもりなんですよ。お話を聞いていただけたところでございます。

「市長が行く」というコラムを読んでいた方がいるんですけど、ちょっと私もきつくなってきておまして、これ締め切り結構早いんですよ。それで毎月、毎月、「締め切りいつまでですからとにかく頼みます」なんていう話があると、ちょっと時たま変なことを書いているかもしれませんが、お許しを願いたいと思います。

温水プールは担当者が来ていますから。

◆質問者7

ちょっと待ってください。今おっしゃったことは今度の「広報もばらに」載るんですか。今、述べられたことは「広報もばら」の「市長が行く」というところに載るんですかね。

☆市長

今のやつですか、いや、今のやつはまた別の。

◆質問者7

だから、私が申し上げたいのは、ちょっと外へ出かければそういういろんなことが耳に入りますよ、頭に入りますよということなんですよ。それで、じゃ、「市長が行く」のをやめて「市長が語る」にしますか。

☆市長

ああ、そういうあれですか。タイトルは今言ったように「行く」というタイトルは、たまたまそういうタイトルをつけさせていただきましたが、〇〇さんの頭の中で「行く」でも「語る」でも何でもいいから、私が書いたことはそう思っただけであれば一番いいと思っているのでご理解していただきたい。

◆議事進行者

どうぞ。

☆長生郡市広域市町村圏組合事務局長

長生広域の風戸でございます。よろしくお願いたします。長生広域についてはご承知かと思えますけれども、ごみ処理、し尿処理、それから、水道、病院、消防等を7市町村にかわって事業を実施している組織でございます。今ご質問いただいた温水プールにつきましては、ごみ処理場の焼却施設の建設に伴って平成8年に設置をされました。実は平成8年設置当初から赤字経営ということで経営をさせていただいておりましたけれども、経年によりまして修繕料等が非常にかさんでまいりました。そのため平成15年度以降は毎年5,000万円以上の赤字、多いときに7,000万を超える赤字という状況が続いておりました。この赤字の補填をどうしていたかといいますと、7市町村から負担金という形で毎年いただいております。これは当然皆さんの税金から賄われたものを負担金としていただいていたわけでございますけれども、市町村の財政状況が非常に厳しいということでございましたので、この件を何とかできないかということで検討させていただきまして、7市町村の首長さんとも協議をいたしまして、平成23年度からでございますが、この施設を民間に貸し付けをいたしました。民間のほうで全て管理運営までやっていただくという形に変更をしたものでございます。その結果、平成23年度以降は市町村から負担金をもらうことなく、1円もお金を出しておりませんが、民間の方が経営をされております。

直接経営をしていたときには一律500円という形で利用料をいただいていたんですけれども、今お話ししたとおり赤字ということで、今回、民間に委託をしまして当初1,000円というお話もあったんですが、これは倍になってしまうので、これはもうちょっと安くしていただきたいということで3,150円という年会費はございますけれども、利用料については700円に抑えていただいたという経緯もございます。民間の貸し付けにつきましては平成23年度から10年間、32年度までの状況になっております。今、経営状況が非常に厳しいということで700円でもなかなか利益が出ないという状況でございますので、なるべく利益を出す経営をしていただいて、利益が出た時点でうちのほうも何とか利用料安くできないかというようなお話を、事業者にさせていただきたいというふうに思っております。ですから、一方的に民間に経営を任すのではなく、私どものほうもそちらのほうに何とか意見を言わせていただきながら、いい状況で経営を続けていただければというふうに思っていますのでよろしくお願したいと思っております。

◆質問者7

全然わかりませんね。5,000万、7,000万が赤字という考え方をするからおかしいんです。温水プールを運営するための補助という考え方でいいわけですよ。それで広域の住民が喜んでいればそのくらいの金を出してもいいんじゃないと思いますよ。それと民間に丸投げしちゃったんですけど、経営も、だから、使用料の700円は我慢するとしても、スイミングスクールの会員に登録しないとだめですよというのは、これは誰が考えて

もおかしいですよ。

☆長生郡市広域市町村圏組合事務局長

今、補助金を出すという考え方でいいんじゃないかというお話があったんですけども、温水センター、温水プールを使う方は全住民が使われるわけではないということもご理解をいただきたいと思うんですね。考え方といたしますとやはり税金を投入するわけですから、そこに5,000万、7,000万のお金が行くということを、全ての方にご理解いただくというのはなかなか難しいんじゃないかならうかと思えます。市町村財政が昔のように、非常に高度成長期のように税金がいっぱい上がってお金を出せる状況だとすれば、これは出していいかと思えますけれども、今や非常に厳しい状況ですので幾らかでもやはり支出を抑えたいというのが市町村でございますので、この辺についてはやはり抑えるためには民間を使って、民間に経営してもらおうというのが最大の方法ということで、その時点で判断をさせていただいた上で民間経営にさせていただいております。

それから、3,150円の入会金、年会費でございますけれども、これはあくまでも民間の経営でございますので、民間がやはり成り立っていくためにはいろんな方法を考えながら民間はやっていただいていると思うんですね。その上で3,150円という入会料をとってやっているものですから、これについてうちのほうが経営を悪化させてまでそれをやめろということは、うちのほうでは言えないんじゃないかならうかというふうに思っていますので、その辺でご理解をいただきたいと思えます。

◆質問者7

赤字、赤字と申しますがね、燃料費というのはかかってないんですよ、ごみ処理を燃料に使っているからかかっているんですか。それと、じゃ、民間に施設を売り渡すんだったら民間のスイミングスクールの言いなりでいいですよ。そうじゃないでしょう、あくまでもあれは公益の施設なんでしょう。じゃ、ある程度こっちの言えることは言わなきゃだめです。もういいです。

◆議事進行者

ここで一応打ち切らせていただきます。

8番目の〇〇さん、よろしく申し上げます。

11. 茂原駅前通り地区土地区画整理事業について

◆質問者8

まずきのうの広報で財政について出ています。これは確かに健全化ということでは書いてありますけどね、いかに我らの茂原市が財政が厳しいかというのは歳入はそれなりにあります。歳出の中身を見ると非常に厳しい運用してということですね、今、教育長もおりますけれども、町の真ん中にある茂原の小学校みたいにね、灰色から黒に近いような学校は

まず全国、私が全国いろんなところで小学校・中学校って目につくから回っております、見えています。我らの茂原市みたいな学校がね、灰色から黒に近いような学校はまずありません。ということは、お金の引き当てができないこういう財政だからということで認識はしているんですけどね。それで健全ですよというのは歳入に対して支出を抑えちゃうと、道路が波打っているように、橋がさびているように、耐震化が進まないでもね、やらなければ残るんですよ。残るということはこの比率はちゃんと健全財政という率に指数は行くんです。これは皆さん苦勞してやっているからこれはこれでいいです。

次に寄附金ね、水害の寄附金やっていますね。これね、私、ある財団法人をつくるのに設立からかかわっていますけどね、非常に金を集める上手な財団です。NPOだとか、全国に向かって2年半、東日本大震災の義援金ということで2年半頑張ったんですね。ようやく7,200万集めました。会社だとか個人で100万も寄附してくれた人がいます。それでようやく2年半かかって金を集めるのが上手な私どもの団体ですがね、ようやく7,200万集めました。ですから、我らが茂原市も水害で助けくださいって寄附金を集めるのは、相当上手に仕掛けないとお金は集まりません。ですから、いろんなそういうノウハウを持っているところから上手に寄附金を集める。私いつも言っているんですけどね、ふるさと納税どうですかとかいろいろ言っているんですけども、この茂原市大きな町ですからね、ここから地方、横浜だとか、大阪だとかいろんなところに行っている人いっぱいいると思うんですね。そういう人から我らがふるさとを応援してって、上手にやってほしいと思っています。

私が既に出しているこの資料は皆さん持っていますか。その部長さんの皆さん持っていますか、持っているよね。それで私がこの持っているこの中で我らが茂原市は当初予算の一般会計263億、補正入れても264億ぐらいです。その中から駅前通り地区区画整理事業ってあります。それに2億5,000万ほど出しています。そうすると、あと100億くらいかかりますね。100億円ということは9万2,500人の我らのところでは、きのう生まれた赤ちゃんも90歳のお年寄りの皆さんもね、1人当たりざっと11万円出すんです、その区画整理事業に。それも40年にわたってどんな町になるのかなというのは誰も確たるものがありません。それをやったらもう今ね、道路が波打っている、橋はさびている、それから、建物の耐震化も終わってない。いろんなもので言うとこれは耐震化だとか、道路補修だとか、橋の塗装なんていうのは工事が終わったら終わった時点から命も守れるし、貴重な財産も守れるんですよ。そういう意味で言うと、駅前通り地区区画整理事業に2億5,000万出すなんていうのは、我らが財政の厳しいところからすればね、これは収束するという格好でやってもらいたいと思っています。すぐにやめるというわけにいかないから、今、事業をして今の形を最大限生かして、私、具体的に提案しております、こういう町をつくったらどうですか。

大学の都市工学やっている先生もね、町が駅から町のところが原っぱに近いような更地だけ増やして、それじゃ、具体的には銚子信用から市役所のほうに向かって手をつけない

町との調和はどうなりますかって私言われているんですね。都市工学やっている学者はいろんな人いますからいろいろなことを言う。駅に寄ったほうをしっかりと1コンマ7ヘクタールきれいにしても、既存の市役所のほうに向った町との調和はどうなりますかって言われました。そういうことからいうともう終結したほうがいいんじゃないですか。そうすると、100億もあれば相当仕事はできますよ。

以上です。回答はいいです。回答は多岐にわたっていますから、企画財政の部門から回答ください。以上です。

◆議事進行者

ではですね、ここでちょうど一応一旦休憩に入ります。15分間休憩に入りますのでよろしく願いをいたします。一旦休憩します。3時15分から再開いたしますのでよろしく願いいいたします。

(休 憩)

◆議事進行者

それでは、皆さん、時間が参りましたので後半の「市長と話し合う会」に入らせていただきます。まず、事前にご質問をいただきました方でまだ3名様残っておりますので、そこから入らせていただきます。

それでは、〇〇さん、よろしく願いいいたします。

12. メガソーラー事業について

◆質問者9

〇〇と申します。よろしく願います。先ほど市長がおっしゃいましたメガソーラー事業について、我々の自治会の合同会社茂原ソーラーユートピア様から決定したということで説明を事前に受けました。ですけど、多少いいかげんな説明だったので、今日またもう一度説明をお伺いしたいと思います。この場所はちょうど南向きの傾斜を造成して、発電パネルを7,056枚敷設するというので説明を受けました。これだけ多くの発電パネルが台風、大雨、そして梅雨時に流れ落ちる雨水について、その下に敷き詰めると言われる、そのあたりに自生しています木材をシートにしまして敷き詰めるといことなんですよ。それで道路との境は全部何か土のう袋を積んでということだったんですけどもね、それはちょっといいかげんじゃないかなと思うんですよ。それだけで雨水を吸収されることは当然不可能だと思われます。また、この前を走る県道、茂原環状線上にあふれ出て、通勤・通学に大変危険があるんじゃないかと思っております。先日の台風26号・27号でも避難地区では道路ののり面の決壊が数カ所ありました。それで道路をふさぐ倒木がありまして通行ができない場所もありました。そういうことを考えても、きちっと排水溝と

排水設備、遊水池をつくっていただきましてね、それから発電事業を計画を進めていただきたいと思います。これは茂原市にとっても将来絶対有利になると思います。決壊したものを直すとなると、それこそ労力もお金もこれ以上にかかるような気がいたしますので、ぜひお願いしたいと思います。以上です。

☆経済環境部長

ありがとうございます。経済環境部の豊田と申します。説明不足があったということで深くおわび申し上げます。改めまして雨水の対策でございますが、農地転用の許可申請時におきまして事業主のほうに排水計画きちっとつくってもらいまして、それで現在進めておるんですけれども、その計画の中では切り土とか盛り土をした部分なんです、ここに全部種子の吹きつけをしまして、山が流れないように、崩れないようにするという、それで保水能力を少し高めましょうということが1点ございます。それから、東西エリア、東、西ですけれども、その北側に従前以上に雨水調整能力を持たせた素掘りの、先ほどお話しありましたけれども、調整池をつくることになっております。そこでほとんどの雨は受けとめられるとは思いますが、それから、石神地区のほう、西側、西の南寄りですね、そちらのほうに50メートルにわたってU字溝を新たに設置いたします。それを既存の排水溝のほうに接続いたしまして、それで雨水対策というか、とっておりますので、一応その辺でご理解いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

◆質問者9

わかりました。これは去る9月29日に我々に説明があったんですけれどもね、それ以降何の連絡もないんですよ。それでみんなが「どうした、どうした」と言うものですからね、今日市長さんとお話しすれば何かしらわかるんじゃないかと思ってまいりました。どうもありがとうございます。よろしく申し上げます。

☆経済環境部長

申しわけありません。事後の説明も不足しておりまして、以後注意いたしますので、よろしく申し上げます。

◆議事進行者

では、次に参ります。次は〇〇さん、本納の方です。よろしく申し上げます。

13. 市の財政健全化と人口増加策について

◆質問者10

私、〇〇と申します。滝ノ谷自治会にありますが、市長が財政健全化ですか、それをどのように持っていくかというのが一番疑問なんですけれども、会社を呼び込むということ

をまず第1に考えているようなんですが、大網白里市が町から市に変わって、あそこはベッドタウン化して人口を増やして税収を回しているんですね。その点、市長のほうは人口を増やすためにどのような方策を持っているか意見をお願いします。

☆企画財政部長

人口施策の件なんですけど、ご存じのとおり茂原の場合、平成14年が9万5,000人ということでピーク、その後ずっと減少していきまして、22年の国勢調査では9万3,000人でございます。あと、民間のというか、推計では平成32年には8万7,000まで減少するというような推定結果も出ております。茂原の後期基本計画では、その減少をスピードを抑える、あと人口施策をとって32年は9万人にしようというような計画になっております。現在、茂原市では市内に減少問題対策のいろいろな組織を持っております。具体的には若手職員によるプロジェクトチームを設置し、柔軟な発想を生かした議論のもと検討しているところでございます。間もなく取りまとめの段階になるんですけど、その中で大きく分けまして産業雇用、あと魅力増進、知名度向上、生活基盤の整備充実、子育て、医療福祉、環境、この体系に分けましてそれぞれの委員さんからご提案をいただくことになっております。これらを踏まえまして、緊急性・実現性を総合的に勘案した中で、来年度、26年度の予算の中で予算措置をして、少しでも人口政策に対応していこうということになっておりますので、ちょっと具体的なものはもう少し検討させていただければと思っております。よろしくをお願いします。

◆質問者10

人口を増やすにはライフラインの整備をしなきゃいけないと思うんですけども、どうも市のほうではライフラインは一切ね、お金がかかるからやらないというような現実なんですけれども、年寄りが車椅子で通れないような道路が滝ノ谷の鳥居戸地域というところにあるんですが、そこはもう雨が降ると砂利がU字溝に流れて道路が冠水する。買い物行くのもカートも持って出歩けない。それが去年もちょっと指摘しましたけれども、赤道、いわゆる国の道路ですね、そこが整備されてないからそういう問題が起こっているんですが、まず人口を増やすためにはライフラインの整備を先にやってね、「あ、あそこはいいな、住みたいな」と土地を見にくる人たちにも健全な市であるかと訴えていかないとと思うんですけども、それが全然逆行しているんですね。予算がないからそんなのやらないでおこうと、去年も建設部長かな、私のほうに来ただけけれども、図面なんかをたくさん持ってきたが、結局、地権者の同意が得られないから整備できないということで、1回やそこらでその地権者と話したってそれはだめだと思うんですよ。根気強く説得してね、赤道は2.1メートルしかないんだから、最低でも4メートルにするような努力をしてね、よそから来た人たちに「ああ、ここはいいな、住みたいな」というような形に持っていかないと、新しい家も建たないし、その辺でどういう方法で人口を増やすかということは大事な問題

だと思うんですね。まずそのやらないことが前提だというのがね、どうも市長が言っておられるので「入るを図りて出るのを制する」と、これはおかしいと、出すものを出さなかったら入るものも入ってこないんです。どうでしょう。

☆企画財政部長

〇〇さんのおっしゃるとおり、そういうハード面、まず道路とか、その辺の充実はもちろんですけど、ソフト面ですね。そういう茂原を宣伝するとか、あと医療関係とか、その辺は十分承知しておりますので、これまで以上に道路等のほうに予算は投入していきたいと、その辺は考えております。

◆質問者 10

具体的には去年建設部長の方だったかな、その方はもう今年の4月に退職しちゃって、その後に見えたけれども、一応、道路で赤道に接している地権者のところへ行ったけれども、その人から、相手にされなかったということで、相手にされなかったことを何か誇らしげに言って、何も先に進まないというのが現状なんですけれども、もっとこういうことは粘り強くやっていかなければいけないと思うんですが、その辺の姿勢というのは市ではどう考えていますか。

☆都市建設部次長

私、小高でございますけれども、昨年それこそ〇〇さんのところにお邪魔させていただきました。先ほど道路の関係ですけれども、まず排水路につきましては確かに鳥居戸から水が側溝に受けておるんですが、その排水能力が足りないということで、途中から田んぼにあふれているという状況は確認いたしました。そういったことで、今後12月の補正に提出をさせていただいておるんですけれども、少しずつでもまず排水整備をしていこうということで進める予定となっております。また、鳥居戸の関係につきましては、いずれその上流が個人の方の土地を使っていると、いろいろな以前からの課題もございますので、少しでも解決に向けて進んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

◆質問者 10

予算は組み込まれているんですか。

☆都市建設部次長

まだ12月補正の内示のほうはいただいておりませんので、今ここで組み込まれているということは言えない状況でございます。

◆質問者 10

鳥居戸のところは排水路がないんですよね。それご存じですか、排水路ないんですよ、私道だということ。

☆都市建設部次長

赤道の関係、排水路につきましては個人の方の土地に個人の方が、今、現在は敷設されているという状況でございますので、それについては関係する地権者の方とお話をしているところでございますけれども、いずれにいたしましても、その解決に向けては一步一步進んでまいりたいと思っております。

◆質問者 10

努力しているということだけですね。

◆議事進行者

質問者、よろしいでしょうか。

◆質問者 10

いや、努力しているということだけですねという、先に進めようという気持ちはね、具体的に、何ていうか、設計とか、そういうものはつくれる、つくる状況にあるんですか。

☆都市建設部次長

そのためにも、今、排水路が能力がないものを、今、まずは排水路が排水能力のあるものにまず大きいものに切りかえまして、そこから次のステップという形に考えております。よろしく願いいたします。

◆質問者 10

だから、それとその赤道の道路の整備についてはどのように考えていますか。

☆都市建設部次長

赤道についてもですね、確かに、今、大分傷んでおりますので補修等を行ってまいりたいと考えております。

◆質問者 10

大分じゃないですよ、現場見たでしょう。子どもが自転車に乗って砂利道、砂利でひっくり返ってけがするとかね、年寄りも歩けない、そういう状況ですよ。道路が波打っているならまだいいほうで、あそこは道路と言えないと思うんですよ。

☆都市建設部次長

確かに〇〇さん言われるように、我々が見ても相当劣化しておりますので、補修のほうは早急にしていきたいと思います。

◆質問者 10

できる限り早くやってほしいと思います。

◆議事進行者

それでは、事前に質問をいただきました最後の方、よろしく願いをいたします。〇〇さん、どうぞ。

14. 新茂原駅周辺の踏切の改良について

15. 新茂原駅窓口の営業時間について

◆質問者 11

〇〇と申します。よろしく願いいたします。JR東日本に改善要望のお願いということで2点お願いいたします。

1点目は、新茂原駅周辺の踏み切りの改良について、川代踏切と上林踏切は道路幅員より狭く、車両が通過すると歩行者の横断が危険であるので改良していただきたい。この要望につきましては平成20年11月12日の「市長と話し合う会」以来、引き続いて要望しておりますが再度要望させていただきたいと思います。2点目が、新茂原駅窓口営業期間の変更についてですが、始業時間が6時55分からありますが、昨年10月1日の月曜より終業時間が20時05分から17時40分に変更されました。これはあまりにも早い駅の変更であり、新茂原駅周辺の防犯上の問題があると思っております。茂原市では警備会社に委託し防犯パトロールを実施しておりますが、最低限、従前の営業時間に戻していただけるよう要望していただきたいと思います。この2点につきましては、本年9月25日に豊田地区自治会長連合会を通じ要望し、茂原市では本年8月28日にJR本社へ、9月17日にはJRの千葉支社に要望書を提出しているとの回答をいただいておりますが、再度要望させていただきます。以上です。

☆企画財政部長

昨年も同様のご要望をいただいているようですが、JR東日本の要望につきましては、千葉県と関係市町村で組織しております千葉県JR線複線化等促進期成同盟で、毎年茂原市も参加してJR本社と千葉支社に要望活動を行っております。今回の川代踏切と上林踏切につきましても平成20年度から毎年要望しております。JRとしては設備投資が厳しい中で経費実施の可否を判断せざるを得ないという状況であることをご理解していただきたいということでございました。しかしながら、本市としても公共交通機関であるJR東

日本には、引き続き粘り強く要望活動を進めていきたいと考えております。

次に、新茂原駅の窓口の変更ですが、JR東日本によりますと駅の利用状況、経営的なことを総合的に判断して昨年度から新茂原を含む県内4カ所を同様に窓口を早く閉めるような形になったということでございます。本市といたしましては、新茂原駅は学生さんも多く利用する駅でもあり、防犯上の観点から以前のような午後8時ごろまで職員配置を望むところであり、本年度JR期成同盟を介しまして窓口業務の復元を、本社と千葉支社に要望したところでございます。なお、本年度中ちょっと時期はわからないんですけど、新茂原駅に防犯カメラを設置する予定でございます。以上でございます。

◆質問者 1 1

ありがとうございました。我々も今後とも強く要望していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上です、ありがとうございました。

◆議事進行者

ありがとうございました。以上で事前にご質問をいただいております方の質問を終わります。これからは皆さんからご意見を伺ってまいりたいと思っております。発言をなさる方は挙手をしていただき、お名前また団体等をおっしゃってからご発言をお願いいたします。

どうも失礼をいたしました。まだ事前にご質問をいただいた方で残っているということですので、6番目の〇〇さんはいなかったですか、いらっしゃいませんね。6番目の〇〇さん、先ほど順番が来たようですけれども、いらっしゃらなかったということで先送りをさせていただきましたが、いらっしゃいませんか。では、全部ご発言はいただいたとのことですので、これからは皆さんからご意見を伺ってまいります。ご意見・ご発言をなさる方は挙手をしていただきまして、お名前または団体名をおっしゃってからご発言をお願いいたします。それでは、どうぞお願いいたします。

1 6. 墨田調整池の整備について

◆質問者 1 2

〇〇と申します。先日の台風26号の件でご要望か提案なんですけれども、我々のところ実は調整池が墨田にありますけれども、あそこからの流れが非常に強くて被害が出た地域でございます。調整池見てもらえばわかるんですけれども、私ここに40年住んでいるんですが、非常に浅くなってきています。一番当初から比べますともう中の高さが半分ぐらいになっているのが状況でして、今回あそこに一宮川の堤防のところ調整池に水が入るように浅く七、八メートルぐらい削ってあります。その分一宮川の川があふれたときに流れるところがなくて調整池にどぼっと入って、その調整池が浅かった。それで我々のほうにたくさん水が流れてきて被害が出てきたような状態です。先ほど、市長のお話の中で上流における調整池の整備とかいう話もあったんですけれども、その整備の中にその調整池

の砂払いといいましようか、そういうのが入っているかどうか、なければそれを入れていただいて、やはり水が何ぼ降っても万全に受け入れられるような体制をとる、ひとつとっていただきたいかなと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

☆都市建設部長

都市建設部長の鳩川でございます。ただいま八幡原の調節池の関係で中が埋まっているというお話をいただきました。確かに平成元年から工事をやっておるわけですが、もうそこから21年経過しているということで、おそらく下のほうにはかなり泥等があることは否めない事実ではないかなというふうに思っています。今回の災害というか、川の越流につきましては今申しましたように国道409号の上茂原地先の砂田橋から旧日立のところの日進橋ですが、そこまで間でおおむね最大30センチぐらいの越水がされたということです。この対策につきましては、今後、千葉県と茂原市と、それとそういった洪水関係の専門家を交えまして、一宮川における今後の浸水軽減対策に係る検討会議というものを早急に設置しまして、今、千葉県のほうでこの水害状況について測量ですとか、あるいは降った降雨の状況ですとか、あるいは今言っています調節池の状況とか、川の中に木が生えていたり堆積土があったりとかという、そういったようなこともございますので、そういう状況等を現在、既に調査を実施しております。この調査結果をもとに原因を早ければ今月中ぐらいにまとめて、この第1回の検討会議の中でこれを発表しますということになっています。

この原因究明を受けまして、例えば先ほどから言っていますように一宮川河口部はもう既に倍の広さに広がっているんですが、そういった根本的な対策として茂原の近くまで川を広げる事業を行うですとか、あるいは、前回8年の際に行いました堤防をかき上げする事業ですとか、あるいは調節池をさらに増やす事業ですとか、当然、川の中をきれいにするということは、当然一番最初にやらなければいけない事業であり、調節池をきれいにして容量を大きくするというのも、これも地権者等がないわけですから、もう予算さえつければすぐできるわけですから、こういった対応を一番最初にやるのではないかなというふうに考えています。ですから、その検討会議の中で今後皆さま方からいろいろな意見が市のほうにも寄せられると思いますので、茂原市といたしましては被災者の立場に立った形で、そういった要望をその検討会議の中でできるだけ反映してまいります。水害はどんなにお金をかけても、それ以上の雨が降ってしまえば、これはもう耐えられないわけですが、少なくとも今回程度の雨であれば十分皆さん方が安心できるような形での整備をしていただくよう、今後、県にもお願いもするし、自分たちも参加しましていろいろな事業を提案していきたいなど、そのように考えております。以上でございます。

◆質問者12

今、話があったんですけど、一番最初にできた調節池というのが鶴枝と墨田の2カ所あ

るんですが、私が今年自治会長をやっておりますして驚いたのは、鶴枝の調節池、下に入ることが出来ますね。今年水防訓練がありまして、私、これが調節池なのか。一体墨田の調節池はどうなっているんだ。あれだけきれいになって整備されているのが鶴枝であって、何にもされてないのが墨田、やはり墨田のほうも下に人が入れて散歩でもできるような、そういう環境にできないのかというのが、私、今年、自治会長やって初めて思いましたので、ぜひともやはり同じようなことをやっていただきたい。以上です。

◆議事進行者

それでは、次の方、お願いをします。

17. 防災無線個別受信機について

◆質問者13

〇〇です。よろしく申し上げます。先ほど、川の木やなんかということでやるということだったんですけど、この話は4月のときかな、各自治会の人から早く処理してくれという話が出たと思いますので、これは、今、部長さんが検討するじゃなくて、至急やっていただかない、やっていけばもしかしたら今回の一宮川の洪水はなかったのかなと思っておるんですけども、それはいろいろと問題があると思うんで、今やっていただけるということなんで、それは1つ置いといて、あともう一つ、これは自治会の人から言われているんですけど、緊急の放送ありますね、これが全然聞こえないんですよ、何言っているんだかわからない。これここにおられる方はほとんどがそういう実感されているんじゃないんでしょうか。自治会としては会長とか三役には市のほうからのあれもらっているんですけども、実は有線でもよろしいと思うんですが、各家庭に有償でもという方が何人かおるんですよ。特にひとりの人ですとか、町内になかなか見られない方が結構おられるんですけども、役員だけじゃなくて各家庭に設置できるような防災無線ですか、検討していただきたい。それから、今やっている放送ですけども、緊急事態のときは例えば消防の「ウー」というやつですね、これが鳴ったら至急避難しなさいよということを検討していただければありがたいなと思いますので、ひとつ検討していただければと思います。

18. 台風26号水害の詳細な検証について

◆質問者14

〇〇と申します。このたびの26号による被害ですけども、相当なものでして私ども、私のうちは実際床下なんですけど、ほんとうに大したことなかったんです。ところが、回りの企業、小企業、お店、大変な被害を受けております。私は今日たまたま、きのうかな、広報を見てこういう会があるということを知りまして、もうぜひとも出たいと。今日はほんとうは午後から用があったんですがキャンセルしましてここへ出てきてました。何としても皆さんにお話ししたい。

それはまず第1に、今回、私はもうこのことは大分前から知ってたんですが総雨量が270ミリ、270ミリで洪水が起こるということは私は全く想像していませんでした。以前聞いたのは300ミリ以上、あるいは400ぐらいでどうかなという話を聞いておりました。ところがとんでもない、270ミリ。確かに私の感じでは、雨が降ると大体もう降り始めてから観察しています。うちはもうすぐ近いです、川に、図書館の前ですから見えるんですよ、川の川面が。「あ、これはもう危ないぞ」ということで準備したんですけども、この今回の洪水の原因をしっかりと検証してほしい。もうこれで3回目でしょう。今までの洪水の検証というのはどうなっているんですか。一宮川の河口堰の河口を広げたということと、それから、松瀨堰を改修したという、それでも安心したんでしょうかね。私は前にもこの会で言ったことがあります、河川のあの状況を見てくださいますよ、あの泥の重なり合い。あそこに立派な木が生えています。でね、この間、26号のああいうことがあってすぐ何か切ってましたよ、木を。そんなことしたってね、何の足しにもなりませんよ、はっきり言って。もっとね、地に足をつけたね、しっかりとした計画のもとにやらないと何もなりません、絶対できませんよ。

一体ね、これは県の仕事だからと思っているかもしれませんが。一体どれだけ、何回ぐらい県に改修しろと言っているんですか。何遍来ました。もっと真剣になってやってほしい。我々被害に遭った者はたまったもんじゃありませんよ、茂原に住みたくないですよ。私の女房なんかはもう住みたくない、どっか引っ越したい、水の出ないところに行きたい、言ってますよ。私はやはり八千代2丁目で、今、会長が来て質問されましたけれども、私も6年前ですか、八千代2丁目の会長やっていたときしばしばこの会に出ましてね、一宮川の河川の問題についても話を聞いたり、あるいはお話ししたりしたことあったんですけども、一向に変わってない、一向に変わってませんよ、以前と。どうしたらいいんでしょうかね。人はどんどん2年ぐらいに係が変わるしね、どうなっているんですか、これ。もっとね、しっかりしてほしいと思う。お願いしますよ。

ちょっと質問したいんですがね、皆さんどうなんです、一宮河川のあそこを実際じつとごらんになったことありますか。すごいですよ、泥のあの量たるものはね、ダンプカーで何台になるんでしょうかね、どうやってあの川から出すんですか。どのくらい費用がかかるんでしょうかね、きれいに改修するのに。そんなことをみんな住民は考えているんですよ。心配しているんです、毎年のように雨が降るたびに心配しています。皆さんね、インターネットで、今、一宮川の早野の水量がすぐわかるんですよ。「テレメーター早野」ということで出してみてください。もう10分置きに推移が変化しているのがわかるんです。そういうのを見ながらみんな心配しているんですよ、我々は。ほんとうに期待してますよ。もうね、これがまだ続くようだったら、この状態が延々と続くようだったら、もうね、私は茂原から出ます。冗談じゃないです。よろしくお願いします。以上。

◆議事進行者

何かこの件についてお答えありますか。

では、次の方、お願いいたします。お答えがあるんですか。

☆都市建設部長

防災無線の関係につきましてはまた担当のほうからお答えさせていただきたいと思いますが、今ご質問いただきました水害の関係の中で原因をしっかりと検証してまずほしいということですが、これも先ほど申しましたとおり、もう既に県では測量に入っており、現況の調査をしております。またテレメーターの関係につきましては、一宮川水系に10カ所ございます。あと早野の放水路の関係ですとか、気象庁の降雨量の関係ですとか、そういったものが1カ所じゃなくて複数ございますので、そういったものを全て解析して、今回の雨の状況がどういう状況で、結果としてどういうものが足らなくてこういう水害になったのかという検証をすることとなっております。ですから、その検証が早ければ今月いっぱいぐらいにはできますので、その検証結果を受けて今後の対策を検討していくということとなっております。

川の状況ですが、先ほども言ったとおり、この茂原周辺、八千代の周辺もそうですが、平成元年と平成8年に2回水害をこうむっておりまして、その都度調節池をつくったりですとか、河道の中の泥の撤去をしたりですとか、堤防のかさ上げをしたりですとか、そういった事業を行ってきているわけなんですけど、川自体はそういう形だけではなかなか対応ができませんので、一宮川につきましては河口から睦沢の川下なんですけど、河口から端沢川の合流点まで7キロについて、激特事業とは別に河川改修事業を継続して実施しています。松潟堰までにつきましては50メートルだった河巾を100メートルに広げまして、おおむね3キロ区間ぐらいについては、おおむね完了してまして、その後、瑞沢川合流まで河口から7キロぐらいあるんですけど、その7キロメートル区間についても、現在、事業を実施しているところでございます。

ですから、この辺の関係で鶴枝地区ですとか、中の島地区ですとか今回水が上がってないところは、これらの事業の影響を受けているのではないかなと想定できますので、こちら辺の検証についてもあわせて実施し、今後、正式な見解が出るとお思いますので、そういった抜本的な対策事業を下流域からぜひやっていただくというのがまず1点ございます。それと、その事業につきましてはそれこそ長い時間とたくさんの経費がかかるわけですから、すぐ対応できないとすれば暫定的に堤防をかさ上げするですとか、上流域に調整池をつくるですとか、そういった暫定的な措置と抜本的な改革をあわせて実施していただくように、今後の検討会の中で提言していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

☆総務部次長

総務課の十枝と申します。防災無線について私のほうから申し上げさせていただきます。

ただいま質問がありましたように、今回の場合は避難勧告ということで出しましたので、その際にサイレン音が出せればもっとみんなによく聞こえたんじゃないかということで、その辺についてはこういう勧告ですので、その際のサイレンについては検討していきたいと思えます。確かにふだんでも窓をあげないと聞こえないと言われていた防災無線でございます。今回の場合はちょうど嵐が一緒に来ていた時間帯でのことございまして、なおさら聞こえないということもございました。それについてはちょっと検討させていただきたいと思えます。

あと、防災無線と同じものは個別受信機です。個別受信機については防災無線が聞こえないところの自治会長さんに配ったりとか、自主防災組織の皆さんの長の方のところ配ったりとかはしているところでございます。今、有償でもというようなお話があったところなんですけれども、その辺のところはそういうどのくらいの方が欲しいかということで、お値段が有償で4万円を超える金額になろうかと思えますので、ちょっとまた自治会長さんと相談して検討させていただくという形でよろしくお願ひしたいと思えます。

◆議事進行者

質問者はよろしいですか。はい、じゃ、次。

19. 災害ボランティアの動員について

◆質問者15

やっと順番が回ってきました、ありがとうございます。〇〇といいます。私はいつも言っているんですけど、行政にいろんなことを要求するばかりではなくて、何が自分ができるかということも思っていつもボランティアのことを言っています。今年も今までやってきたボランティアに加えて、成年後見人の方のボランティアを今年の5月からやらせてもらっています。ということで、ボランティアについては非常に興味持っています。今回、非常にいいチャンスといったら言葉は若干問題あるかもしれませんが、災害に遭われてボランティアの方がたくさん来られたと思うんですよね。その状況ですけど、田中市長のところへ数字行っています、ボランティアの？ それでこれ見ると1日目は50件の依頼があつて、2日目に28件の依頼があつて、始められたのは10月18日からの数字になっているんですけど、ちょっと私このときここにいなかったんでどういう状況だったか、16日が災害ですね。どうして18日からというのがわからないんですけど、それにしても18日は応募はゼロなんですね、これね。皆さんは災害のこういうときって出勤活動というかね、一番大事だと思うんですよね。だから、どうしてこんなにボランティアの集り方が遅かったのかということも思えます。

それで前から言っているんですけど、ボランティアの志のある方を市のほうで登録しておかれましてね、それで何かあったときは、私はもちろん登録するときには私はこういうことができます協力できますとか、あるいは力仕事ができますとか、いろいろ得意面ある

と思うんですけど、それを登録しといてもらって、すぐにEメールになるとは思いますけど、データベースで災害のお手伝いするボランティアいるんだったらすぐに家に連絡するといふ、そういうことをやっておいたらもうちょっと早く動いていたんじゃないかと思うんですね。これ実は皆さんに何回も申し上げていますが、4年ほど前にね、市長覚えておられますか？ そんなのしたらどうですかって言ったら、当時の部長が「あ、検討します」って言われて、その方はもういないかと思えますけど、例の2年でということだと思いますが、ということで、市長と話す会ということなので、田中市長、どういうふうにしてもらえるか聞かせていただけますか？

失礼、私、市長と話したいんで部長は結構です。去年も言いましたけど、ここは市長と語る会なんで部長さんと語る会ではないんですね。去年もこれを言いましたけど、お願いします。

☆市長

まずこの後で総括でまた言おうと思っておりますが八千代地区とか他の地区でも相当被害が出ておりました非常に頭の痛い、行政のトップとしてまことに申し訳ないと思っております。ただ、この問題は私の耳に入っている限りにおいては、激甚災害が平成8年にありまして、そのときの対応で、おそらくそういう意味で八千代の自治会長さんおっしゃったのかもしれませんが、〇〇さんがおっしゃったのかもしれませんが、300ミリには耐えられると、こういうような感じで捉えていたのかなと。もちろん私も、それから、今日ここに来ている行政スタッフみんなそういう思いでおりました、かさ上げ60センチしたわけですね。なおかつ調節池3つつくってございまして、そういうのに250億以上かかっているんですよ。それだけの金を突っ込んでおいてまさかこんな被害が出るようなことは全く想定しておりませんでした。ただ、ほんとうに申し訳ないなと思うのは甘かったなと思っております。

この件に関しましてはさっきいろいろ言いましたが、県のほうにはもちろん知事にも言っておりますし、それから、相当早く対策を打たなければいけないと。私は「市長が行く」広報9月1日号に書きましたが、そのときと全く同じなんです。僕はもう毎日歩いて役所まで来ていますから、そのときにちょっと雨が降ると川の水量が上がっているんですね。そんなわずかな雨でも少しずつ上がってきているというような状況を見たときに、やはりおかしいと思っております。ただ、これは震災と一緒になんですけどね。3.11と一緒に、そういう先入観があると人間ってどうもそこに甘えちゃうようなところがあるんですね。例えば激甚災害の対応で250億以上も突っ込んで調節池3つつくって、かさ上げ60センチしましたっていう先入観があるから大丈夫だと。先ほど言ったように下からは松瀧堰を改修して、一宮川もぶっ壊して100メートルの川幅にして、どんどんかさ上げをしてきているから、雨量の流れも早くなってくるだろうし大丈夫だ、こういう先入観を持っていたんです、私ももちろん。ところが、それが見事に打ち砕かれたと。

1つはやっぱり今ゲリラ的な豪雨と言っておりますが、これにも要因があると思っております。河川とか調節池の底が上がってきて、そこに草がいっぱい生えてきてという、こんなものもありますけれども、ただ、上流で降ってしまいますと下流では受けとめられないような、こういうような因果関係も多分どこかに働いているのかなという気もしては、調査結果等を踏まえて報告を受けないとわからないんですが、ただ、このところ毎日言っているんですけど、ちょっと問題発言になっちゃいますが、個人的な見解ですけれども、この雨は下手すると毎年来る可能性があります。まだ少ないですよ。ご存じかもしれませんが、この間、徳島、四国に降ったのは650ミリですよ。それで今言われているのは300ミリ以上というのはいろんなところで、京都の渡月橋がかなり被害を受けましたけれども、あんなのは日常茶飯事、日本中あるんじゃないかなというのは、もう多分そういう頭でいたほうがいいんじゃないかということを職員には毎日言っているんです。どうするかということなんです。時間がないんです、はっきり言いまして、来年ですから。今年は多分回避できるかもしれませんが、もうあと数カ月間は。ところが、来年になった場合にまたやったら先ほどの話じゃないですけど、私もそうですよ、同じ、そういう考えを持つのが普通で、そういうような多分今回は相当その辺の話は出てくるだろうと思っておりますし、それに対応する行政側も、じゃ、今何ができるんだという話なんです、それを検討しだしています。

極論なんです、できるかどうかわかりませんが、4.5キロ、今ちょっと問題になっているのは4.5キロなんです。両方で9キロ、約10キロ、この間の土手に、わかりませんよ、これでクリアできるかどうかわかりませんが、1メートル強のかさ上げの堤防をつくっちゃおうかと。それだったら時間的にできなくはないだろうと、それをちょっと県のほうに強く言って検討させようと今思っております、実は県会議員のほうにもその要請をしたところであります。ただ、時間的な問題と、それから、やっぱりお金がかかります。何だかんだといっても数十億かかると思うんです。その数十億のお金をどうするかというのはもう喫緊の課題という思いでありますので、何とかしようという腹づもりはできています。ただ、そこでほんとうにそれで回避できるかどうかですね。そういう問題もありますのでもうちょっと、ほんとうにそんなに時間かからないようにしたいと思いますが、時間をいただきたいなと思っております。いや、やっぱりショックでして、だから、できるだけきつく行政には「何でこんなことになっちゃったの」というのが、正直言ってとっくに解決している問題だと、多分同じような考えだと思うんですけど、私たちがそういう思いでいたんで、ですから、ほんとうにびっくりしたんです。

それとボランティアの話なんです、ボランティアもすぐ動員をかけました。正直言いまして、次の日にかけたんですが、ほんとうにもう情けないかな、そのときかけたら、ゼロ、2人だったか、最初。それでもう唾然としまして「何やってんだ」ということでいろいろ指示を出したわけです。もうこの際だから防災無線を使ってもいいし何使ってもいいから、ただ動員をかけてくれということで、最終的には370ぐらいの人が来ていただい

たということで非常に助かっておりまして、まさに〇〇さんの言ったとおり登録しといて、その人たちにすぐ発信するようにしとけば別に問題何もなかったと思うんですが、茂原市の社会福祉協議会がそのボランティアの窓口をやっているとかで、もう茂原市は窓口がないとかおかしいだろうと、私もそういう話もしているんですよ、本部対策会議の中ではがんがん。ですから、そこはやっぱりもうしようがないですよ。それでもやらないよりはやったほうがいいということでやっとな動いてこういうことになりました。なかなかご迷惑をかけていると思っておりますが、もうちょっとそれには、もうこれでどういう形でいけるかというのができると思えますから、登録していただくこういう窓口を一本化するということで処理していきたいと思っております。

◆議事進行者

ちょっとお待ちください。

◆質問者 15

誤解があっても嫌なんで、374という数字ですけど、これだけ言わせてください。これは延べの数字なんですね。だから、熱心な人は5回、6回行っている可能性が十分あるんですね。だから、実際に人数言うと100人切っているんじゃないかな、もっと50人じゃないかなと私は思っています。それと聞いてみると東京とか県外、茂原の市外から来てくれた人がいるみたいですね。だから、できるだけやっぱり地元のことはまず地元でお互いに助け合って、残念ながら私も70歳になったから畳を運んだりはできないけれども、でも、何かできると思うんですね。だから、ぜひともそんなことを考えていただきたい。正直言ってあまり期待していませんけど、以上です。失礼しました。

◆議事進行者

それでは、私に与えられた時間は午後4時までということになっております。また、先般、台風災害によるご質問が非常に多うございました。市の体制といたしましては災害対策本部というのが設定されております。したがって、個々の問題は本部へご相談いただければどうかというふうに思っております。

それで、まだご発言なさっていない方が最後のご質問を受けたいと思います。

20. 市の文化施設の改築について

◆質問者 16

すいません、最初にですけれども、茂原市の文化祭が急遽中止になったということは非常に不満を感じております。その1人です。さて、初めて今回参加させていただいたんですけれども、市長はじめ部課長級の皆様がこれだけそろっていることと、それから、茂原広報でも3回ぐらいですか、本会がすごく重要視されているかなという市長の姿勢はすご

く感じております。それから、本会の目的なんですけれども、一応、問題点を論議し合い、それを住民が理解し、協力する面というのも非常にあるんじゃないかなと思います。ですから、今見ているとボランティアの方の発言もございましたし、そういう意味では市のほうも積極的にそういうものを活用するということを考えてほしいなというふうに思っています。

さて、要望のほうですけれども、市長も私の先輩でもありますし、東京都のほうにいますのであまり難しい話もできないんですが、市民憲章の中に第1項目のところなんですけれども、やっぱり「文化」という言葉が入っているんですね。文化の薫る社会づくりというんでしょうか、何かそういうことが書かれています。ですから、先ほどの文化祭のこともそうなんですけれども、私としては、古谷教育長さんもいらっしゃいますが、教育関係での施設の充実というのは市長も最優先にやるということですので、それは仕方ないかなと思いますけれども、文化面でも1つ要望したいなと思っています。私も還暦60歳を迎えまして、今まであまり使ってなかったんですけれども、公民館活動だとか、総合市民センターでの活動に参加する立場になりました。そうしますと、先ほどご意見がありましたけれども、非常に汚いですね、非常に汚いです。市民会館など話によると舞台の壁が崩れているとかいうのもあるようなことも伺っています。

ですから、今、負債がさっき市長がおっしゃったように625億だかもある中で、さらに箱物というのは難しいかもしれませんが、図書館とか、これは古谷教育長さんのお考えからいくと読書ということからすると、その辺の施設もやはり憲章の中に文化の薫る茂原市をつくるんだというような考えであるならば、やはりそちらも並行してちょっとお考えいただきたいなと思っています。これは、私、先ほど言いましたけど、60になりましたが、やっぱりそのぐらいからそういう施設を結構使うんですよ。それまでは多分日々の生活に追われ、仕事に追われていますので、そのぐらいの年齢からの人が結構使いたがると思うんですね。残念ながら市のほうも予算のために各サークルへの補助金がもう一切ないということで、自発的な生涯学習のそういう推進をみんなそれぞれのグループで自腹でやっているわけなんですけれども、でも、今の市長が広報にも書いてありましたが、高齢者社会、特に茂原市はすごく高くなりますよということをお書きになっていました。ですから、そういう人たちの集いの場というのかな、何かそういうものもやはり充実していくということも大切なことじゃないかなというふうに思っています。ですので、一応要望として言わせていただきたいと思います。

最後に1つだけ、実は今日ちょっと妻も休みだったので映画を見に行きました。今、映画を見るときになると千葉以上まで向こうへ行かないと見られないんですよ。大変個人的でつまらないことかもしれませんが、私、安房のほうの友達も知っているんですけれども、安房のほうなんか電車使って千葉まで行かないと映画が見られないらしいですよ。昔は、私も茂原生まれの茂原育ちですので、4館も5館も映画館がありました。映画というのは歩いていくもんだと思っていました。でも、今はもう何十分かかけていかなきゃいけ

ない。アスモにあった映画館、これは営利企業ですのでなかなか難しいんですけども、できるだけそういった文化面でも、何ていうんでしょうかね、幾らかそういういろんな人たちの集いの場みたいな形の施設もやはりやってほしいな。聞くところによるとあの三井東圧の跡地かなんかに何か大きな施設が来るということであれば、そういう文化的な施設もちょっと指導していただく。私的なものでしょうから営利企業にはあまり口出しはできないでしょうけれども、そういうものをぜひお願いしたいなど、要望です。お願いいたします。

すいません、名前言うのを忘れました。1個人と団体はありません、〇〇と申します。よろしくお願いいたします。

◆議事進行者

それでは、時間が参りましたのでここで市長の総括をお願いしたいと思います。

ご質問、はい。

2 1. 水害時の情報収集方法について

2 2. 土のうの配布と購入方法について

2 3. 浸水地区の固定資産評価について

◆質問者 1 7

〇〇です。災害の関係ですが、先ほど八千代2丁目の方がおっしゃっていましたが、全く同じでございます。十分ご検討をお願いしたいと思います。それでお尋ねしたいのは、避難勧告という情報を放送いたしますね。茂原の情報はどこからどういうふうにして市の方に入って来たんでしょうか、それを教えてください。

それから、先ほど市長さんが来年もあるかもしれない、私も同感です。というのは、さまざまな放送を見ていますと太平洋上の台風が発生するところの海水温が相当上がっている。これは気象学会の関係ですが、実は堤防対策が進まない限り自己防衛をせざるを得ないんですけども、土のうを1家屋20個が限度ということで配布しますということでした。それで、私、市役所のところまで行ったところ行列ですね、土のうの、とても20個では足りないんです。それで緊急に土のうを、何も無償ではと言いませんで、どこかに頼めば土のうの作成をやってくれるというようなところはないでしょうか。今、土のうは昔みたいに砂を入れるのではなくて、何かほかのものを入れてという土のうがあるというふうに聞いておるんですので、その点をおわかりになっているんだったらこの場でお話しいただいて、またそういう情報がなければお知らせいただきたい。

それから、各種税金、それから、減免いただいているわけですけども、先ほど八千代の2丁目の方はもう住みたくない、出ていくと、実は私のところの世帯の中でもそういうふうに言う方がいらっしゃるんです。固定資産税を減免をしていただけるということになっていきますけれども、減免のほかに、もう3回、元年、8年、25年、3回、土地の課税

評価を再検討いただけないでしょうか。とてもじゃないですけど、あの地域に新しく転入しようとか、土地を買おうという人おそらくいないんじゃないか。路線価格でネットで調べればすぐわかるんですが、あの価格なんかで買ってくれる人いないと思います。評価を新たにやっていただきたい、そのことなんですけれどもお願いいたします。

☆総務部次長

総務課の十枝です。避難勧告の情報はどこからどう出たのかというお話、どこから得たという話だったんですけども、今回の場合、最初に避難勧告が朝の4時45分に出しております。それは早野地先の梅田川、鹿島川が氾濫が起きそうであると、少しずつ水が出てきているというのがありまして、それについては広報車5台を用意しまして早野地区、緑町、長清水方面を5台の車で放送車を流して最初の勧告をしました。それはうちのほうのどこかの情報かという、うちのほうの土木の職員が外を回ってまして、その中で情報を得て災害対策本部で協議した中で、まずそこに勧告を出そうということでもう出しました。その次が、先ほどもおっしゃられていましたけれども、八千代橋の河川堤防の高さ、水位高さを見てまして、それがかなりの水位が上がってきたということで、危険な状態にあるということで5時45分に災害対策本部で決定しまして流しました。その際にはもう避難所も全て手配してあけてくということが前提がありましたので、あけて45分に防災行政無線で勧告を流して、その後、すぐ追ってエリアメールを出したと。その後、もう一回は6時過ぎにもう一度同じ勧告の同文書を流したということで、どこから、よそから情報が来たんじゃないかと、うちのほうで捉えている情報をもとに対策本部で決定して流していると、そういう内容でございます。よろしく申し上げます。

☆都市建設部長

土のうについてのご質問がございましたので、土のうについてお答えさせていただきます。今回台風26号で大変な被害が出たということで、土のう等についての要望が市民の方からあったわけでございます。それで10月21日から土のうの配布をいたしまして、このときは業者に注文を入れまして、その業者調達の土のうを1,300袋配布したところでございます。22日も配布をするんですが、建設業者がごみの回収ですとか、道路が壊れたところの修理ですとか、いろんな対応についてで建設業者組合に協力をいただきながら災害対策を行っておりましたので、なかなか土のうづくりをする職員といいますか、従業員の方が確保できないということがありまして、22日からは市の職員がダンプで砂を運んできた土を用いまして、25日まで市長や副市長も手伝ってもらいながら、手のあいている職員総出で土のう作りを行いました。市がつくった土のうが1万900袋で業者から納入されたものが21日から23日まで1日1,300から1,700袋ぐらい納入されまして、業者から来た土のうは4,500袋、合計で1万5,400袋を今回配布させていただきました。

1家族20袋に限定したわけなんですけど、車がロータリーのほうまで並んでおりまして、要はつくったものをすぐ積み込むというような状況で配布しておりました。各家庭いろんな状況がございますので、もっとたくさん欲しいという方も結構いらっしゃったんですが、申しわけありませんが、たくさんの方が並んでいるので1回当り20袋にさせていただきました。また乗用車の方が非常に多くて、一袋当り15キロぐらいありますので20袋積むと300キロ近くになりますので、それ以上積むとちょっと危険なところもございまして、当面20袋にということと、1回並べてもらってどうしても足りないようでしたら、大変申しわけないんですがもう一回並んでいただければ、配布いたしますということで対応させていただきました。1万5,400袋で約1人当り10袋~20袋持っていったんですが、1,033名の方が土のうを持って行っていただいて、幸いにも27号については土のうがあまり活躍する場がなかったのかもしれませんが、そういうようなことで対応させていただいたところでございます。

それと、あと土のうについて業者等頼めるところがあるのかということなんですけど、市でも建設業者の方に頼んで土のうを通常はつくっていただいています。それで大体1袋当り業者によって値段は違うんですけど、今回は業者の方には1袋300円で注文をしたところでございます。業者の方に言わせると300円だと合わないということがありまして、当初は600円とか700円とかいう請求があったんですが、ちょっと予算もないんで300円で対応しましたので、もしかしたら個人で購入する場合には500円程度の値段ぐらいだったら、きつとつくってくれるんじゃないかなというふうに思っています。

☆企画財政部長

今回、個人市民税、固定資産税、償却資産、あと水道・下水道を減免させていただくことになっております。評価替えにつきましては3年ごと、たしか24年度にやっていますので27年度の評価替えがあります。そうしますと、26年度からもう作業に入りますので、不動産鑑定士さんを入れてやっていきますんで、その辺の評価替えはしていきますのでよろしく願いいたします。

◆質問者17

すいません、土のうの件は数が多いとか少ないとかって、私、責めているわけじゃないんですよ。自分で購入する道があれば備蓄をしておこうかなという考えなんで、はい、ちょっとお考え違いしているのかもわかりませんが、私はクレームを入れたという意味ではありません。20個ならもう仕方がないのかなと思います。

それから、テレメーターの件ですけども、NHKのデータ放送に河川雨量水位情報ってありますね。それでこの情報とテレメーターの情報を合わせて発令しているということですか。水防団待機水位、氾濫注意水位、避難氾濫水位、氾濫危険水位、私なぜ知っているかというのと雨が降るたびに見ているんです、川が心配で。先ほど2丁目の方おっしゃっ

ていましたね、トラウマなんですよ。このNHKのものと同じですかということと、それから、評価替えをするときに3回も水没していますよという条件を入れてくださいということなんです。3年ごとに評価替えするのはわかっています。そういう状況を不動産鑑定士が考慮して評価替えをしてくださいという、そういう意味です。

☆総務部次長

NHKのデータ放送でもとれるということですね、高さとか。

◆質問者 17

これご存じないですか。一宮川支線の何とか前とか、場所ごとに出ていますよ。

☆総務部次長

知っていますけど、私はこれを見ていませんでした。私どもはテレメーターにより八千代橋の水位を見ていました。

◆質問者 17

いや、避難の勧告をしたときにはどこのどういうデータをもとにしたんですか。テレメーターってさっきおっしゃいましたね。

☆総務部次長

八千代橋のデータです。

◆質問者 17

その勧告したタイミングと、このNHKの河川水位情報というのはマッチングしているんですかということを知っている。

☆総務部次長

マッチングしています。基本的には同じものです。

◆質問者 17

国交省の関東整備局が千葉、茨城、埼玉、神奈川、これやっていますよ。

☆総務部次長

データとしては同じものということです。

◆質問者 17

そうですか。

☆総務部次長

はい。

◆質問者 17

それから、先ほどサイレン云々と話が出ましたけれども、それを見ていれば、もちろん停電しないという前提ですが、それを見ていれば自分で避難の判断ができるのかなと、そういう意味で、今、聞いているんです。

☆総務部次長

はい、わかりました。そういうものを紹介して皆さんにPRするのもということですよね。みんなが見れるという。

◆質問者 17

それを見て、サイレンが鳴る、鳴らないにかかわらず、自分で判断できるんですよという。

☆総務部次長

わかりました。

◆質問者 17

以上です。

◆議事進行者

じゃ、質問者、よろしいですね。

◆質問者 17

はい。

◆議事進行者

では、本日の総括を。

☆市長

長時間にわたりましていろいろとご意見いただき、また、どうしても緊急にやらなけれ

ばいけないような話も相当出てきましたので、それに沿った形で対応してまいりたいと思っております。何はさておきこの26号の台風でございます。いろいろ話が出ましたけれども、ほんとうにどうやっていいのかわかりませんが、行政側の責任と言われても仕方がないところもあったのかなと思っております。過去2回あって3回目はないというような思いで私どももいました。まして私もそういう話を市長になったときから聞いておりまして、平成8年からまずそれだけの大きな水害はもう起きないんだと、こういう思いでおりました。したがって、ほんとうにショックを受けておりまして、かといって何もやらなかったわけではなくて、想定を当然のごとく9月1日号に書いておりますので、行政内の中ではそういう想定を常に意識して何があっても人命、少なくとも人命は失いたくないという思いで対応をさせてきたつもりであります。

したがって、先ほど4時45分の梅田川、鹿島川、この辺の水域がかなりうまくないという報告が入りましたので、八丁寺からあの近辺に巡回の車を出しまして、八丁寺住宅は個別に戸をたたかせて避難誘導をさせたところでございます。随時その話は次から次へと時間を追うごとにいろんな箇所に出てきて、そういう場所に対する避難勧告を決めたのがその後でございます。被害に遭われた方に対しては非常にほんとうに申しわけないと思います。一方で死人とけが人が出なかったということで、自分なりにはその2日、3日はいろいろと思ったところでございます。ただ、今後の話として先ほど申し上げましたとおり、今回の先ほどの被害額が3億5,000万であります。来年以降心配しているのは年に3回とか、4回とか仮に来た場合に、もうすぐ10億単位で金が必要になってきしまうと、財政調整基金をいくら20億積んでも2年でなくなります。

したがって、こういうことはまずいというのも一方においては私の頭の中にもございまして、とにかくちょっと何か緊急避難的に水害を防ぐ方法を全庁挙げて考えろという指示を出しているのと同時に、いろいろな当然学者の話とか、いろんなまた後で出てくるかもしれませんが、喫緊の課題でございます。先ほど言ったように時間がございませぬので、対応できることをとにかく全てやっていきたいと思っております。調節池のかさ上げもするし、河川の流木の始末とか、あるいは上流部でのため池の、今回、緊急に長南と長柄に出向きまして田んぼから何から全部あけてくれというお願いをして、27号だけはおそらく被害が出ないようにしようと思っただけですが、なかなかそうはいつでも簡単に処理できないような実情でございますので、ご理解をさせていただきたいと思っております。難しいことがちょっといっぱいあるものですからなかなか一気にはいけませんけど、少しずつやっていきます。

それと、文化面の話ですが公民館と市民会館の建て直し、これはもう既に民間の事業者で1回投げかけました。つい最近その返事が来ましてPFIと、それから、民活を使った、要するに行政側の金をあまり使いたくないので、やっていただけないかという申し入れでございますが、やっぱり相当それでも、今どっちかという建設会社はフォローの風吹いているんです。したがって、全ての面においてこういう公共関係の事業にはできるだけ、

触れたくないというのが本音じゃないかなと、つまり仕事がいっぱいありますので、採算度外視して合わないような仕事からやろうという意欲はないです。したがって、ちょっと難しいような返事が返ってきていますから、ここはまたちょっと考えていきたいと。やっぱり文化は大事だと思っておりますし、ちょっとみずぼらしいんでね、いくら何でも、呼べないんですよ。実はこの60周年で市民会館でのど自慢をやろうと思ってNHKに申し入れしたんです。そうしましたら、見にきましてちょっと控え室があまりにもひどい、舞台は何とかごまかしてもできるんですけど、控え室があまりにもひどいんで勘弁させてくださいって、こんなちょっと裏話がございます。

ただ、そうはいってもやらないということではなくて、やる方向で常に考えておりますので必ず、私のときにできれば一番いいんですけど、なかなかそう世間は甘くないですが、やっていきたいと思っています。今一番心配しているのは耐震化を進めさせていただきますが、まず人件費が上がってきたと、それから、資材は上がってきていると。先ほど公共性の入札の問題がありましたけれども、入札以前の問題で非常に難儀しております。多分いろんなところでもう不調になっているんですね。学校の耐震化はとにかく、これ時限立法で27年の3月までにやらなきゃいけないんですよ。このやらなきゃいけないという最大の使命がありますから、それに沿った形で動いているんですけど、今、すごいんですよ、人件費の上がり方と資材の上がり方。建設会社はやっぱり自分のもうかるところに行きたいものですから、不調になるか、ならなきゃいいかと、そこだけ今心配しています。むしろ今年度中までにやるんですけど、もう準大手で2社しか手挙げてこないんですよ。本来であれば10社とか、こっちがそういうようなことでお願いして、その中で競争で落としてもらおうというのがいいんですけど、仕事がとにかくいっぱいあるし、それから、人件費、そういった資材も上がっているんで、損してまでやりたくないというのが今の流れで、わりとそういう意味では公平に期しているのは事実でございますのでご理解をさせていただきたいと思えます。

それと何かあったですかね、サイレンの話はもう既にしております。やはり防災無線聞けないんです。聞けないから巡回車を回して広報車でできるだけ声を大きくして、近場で「危ないですよ」という避難勧告をさせていたんです。これもうわかっているんですが、防災無線というのは今どうしても使わざるを得ないところにありますから、防災無線もいいところと悪いところがありまして、ものすごいんですね、1回やるとパンクしちゃうんです、茂原市の電話が。集中して、聞けないから余計心配なんです。市に直接聞けばわかるだろうと思って電話が来るんですが、パンクしちゃって返事ができないというような状況がいっぱい起きてしまいますんで、やっぱりさっき言ったようにサイレンを、緊急避難的にサイレンを消防、広域にまた話をさせていただいてやらせようと、こういう思いしております。これは住民の皆さん方に認知してもらわないといけないんですけど、火事と一緒に「ウー・ウー」というような鳴り方がしたときは、水害の危険があるよという周知をさせていきたいなと思っています。いろいろな手段があるんですけど、ラジオを配ったりとか、

先ほどの防災の情報をとる器具をとっていましたけど、そういうのはやっぱりお金がかかりますし、今の状況からそれが一番手っ取り早いかなと、こういう思いがありますのでそれはもう指示を出してやります。

そんなようなことで、ちょっと本来的にもっとまちづくりとかいろんな話をしたいんですが、水害がこうやって起きてしまったために、そっちへ今度目を真剣に、ずっともう真剣にいるんですけど、ほんとうに喫緊の課題だと思っていますんで、知事とまたよく話をさせていただき、できるだけ予算どりをして、早期に手を打てることをやりたいと思っています。ほんとうにご迷惑をおかけしますが、お許しを願いたいと思います。あと何かありますけど、また何かありましたらどうぞ市長室にも来ていただければ、時間があればいつでもお答えすることができますので、よろしくお願ひしたいと思います。今日はどうもありがとうございました。(拍手)

◆議事進行者

ありがとうございました。

最後に、事務局から皆さんに報告することがあればお願ひをいたします。

☆事務局

皆様お疲れさまでした。この「市長と話し合う会」に前もって皆様方からご意見・ご要望をいただいております中で、本日ご回答できなかった分につきましては、後日、文書をもって皆様にご回答させていただきますのでご了承ください。それと、また本日ご意見・ご要望をされなかった方につきましては、出口に「市長への手紙」がございます。あと公共施設にも置いてございますので、それをご利用していただきまして市のほうにご意見・ご要望をお寄せいただければと思います。よろしくお願ひいたします。以上です。

◆議事進行者

以上で本日の「市長と話し合う会」を終了させていただきます。進行にご協力をくださりまことにありがとうございました。これで議事進行の役を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。(拍手)

— 了 —